



紙幣寮事務總論

浄書

2897



414  
A 2297

紙幣寮事務総論



本寮ヲ設置スル所以ノモノ何ソヤ蓋シ貨幣ノ及ハサ  
 ル所ヲ助ケ以テ内國融通ノ便ヲ達セント欲スルナリ  
 夫レ貨幣ナルモノ抑亦何ノ用ソヤ人民アリ而シテ農  
 工ノ業アリ農工ノ業アリ而シテ交易ノ事初テ起ル交  
 易ナルモノ又何ソヤ農工ノ業人々相兼スルヲ得ヘカ  
 ラス故ニ各其餘リアルヲ以テ其足ラサルニ易フ夫レ  
 物ヲ以テ物ニ易ナルハ其煩ヲ免レス民智漸ク開明ス  
 ルニ及ヒ交易ノ便ナラサルヲ憂ヒ而シテ金屬ノ貴重  
 スヘキヲ知シナリ是ニ於テ貨幣ノ用アリ以テ百貨交  
 易ノ表證トナリ媒介ヲナス然レモ其用エル所只沙金  
 銀塊銅鐵ノ類ノ三未ダ曾テ一定ノ形制アラス故ニ亦  
 秤量分截ノ煩アリ後世ニ至リ貨幣ノ形制初テ備リ漸

大正十一年四月

ク其秤量分截ノ煩ヲ免カル、ヲ得タリ然レモ世ヲ逐  
テ其製ヲ異ニシ孰旧並ニ行フヲ以テヤ其形ノ大小量  
ノ輕重均一ヲ得ス故ニ民猶以テ便トセス其間又措幣  
ノ製アリ封建ノ世ニ當リ群藩各之ヲ作り以テ用途ノ  
不足ヲ補フ其數巨萬ノ多キニ至ル蓋其製タル每藩形  
制ヲ異ニシ其疎拙固ヨリ偽造ヲ防クニ足ラス而シテ  
通用其境ヲ越エルヲ得ス亦衆庶ノ大ニ困ム所トナル  
孰政更始ノ前ニ當リ真貨偽造ノ弊ヲ生シ人々其眞實  
ヲ辨スル能ハサルノ憂ヲ懷ク而シテ外國交通ノ道既  
ニ開クルニ及ンテハ則其品位價格自他均一允當ヲ得  
サルモノアリ如此ハ則自ラ國損ヲ醸生スルナキ能ハ  
ス是ヲ以テ維新ノ際深ク此事ニ著眼シ造幣寮建設ノ  
議アリ然レモ兵事控徳ニシテ造幣ノ業未タ及フニ遑

アラス乃チ太政官金札ヲ製出シ賈金ノ弊ヲ矯正シ兼  
テ用途ノ不足ヲ補濟ス而シテ尙小貨ノ乏フシテ融通  
ノ不便ヲ憂フルナリ又民部省金札ヲ発行ス然レニ府  
下ノ民未タ措幣ノ制ニ慣レス且偽造ノ弊アルヲ恐ル  
、ナリ未タ以テ便トセス是ニ至リ造幣ノ議初テ熟シ  
之カ為メニ其寮局ヲ設ケ洋西諸州ノ方法ニ據リ其形  
狀ト其斤量トヲ改定シ悉ク舊幣ヲ改作新鑄シ以テ世  
取均一ノ價ヲ得我民ヲシテ長ク偽造ノ患ヲ忘レ其行  
用海ノ内外ヲ問ハス至ル所障礙ナカラシメントス然  
レモ洪業一朝ニシテ成功ヲ得ヘカラス故ニ又措幣製  
造ノ舉アリ蓋シ造幣ノ及ハサルヲ助ケ衆庶融通ノ途  
ヲ便セント欲ス是本寮創置ノ因テ起ル所以ナリ乃チ  
其初ニ當リ兌換證券ノ製アリ是ニ至リ廟算遂ニ決シ

更ニ又紙幣ヲ新製シ彼官省ノ金札及ヒ藩製ノ措幣ヲ  
一掃交收セントス而シテ器械未完備セス製作巧妙ノ  
技ヲ奏スル能ハス乃チ之ヲ海外ニ購求シ日耳曼國ノ  
ランクホルトニ於テ新紙幣ノ舊製ヲ得タリ其製タル  
ヤ紙質ニ於テハ則其美ヲ尽シ彩紋ハ則緻密ヲ極ム是  
ニ於テ偽造百出ノ憂既ニ消シ百貨流通ノ便始テ聞ク  
嗚呼紙幣ノ製作今日ニ及ヒ極所ニ至ルヲ致ス抑紙幣  
ノ能切ヲ論スルニ至リテハ真貨ニ優レルモノ甚多シ  
先其最ヲ挙クルニ百万圓ノ多キ千百里ノ遠キ尚能ク  
提携シテ以テ致スヘキ一ナリ貨幣ノ摩擦シテ其介量  
ヲ減却シ以テ衆庶一般ノ損耗ヲ生スル如キノ憂ナキ  
二ナリ紙幣ヲ作ルノ費ハ真貨鑄鑄ノ費ニ比スレハ又  
甚タ廉ナル三ナリ紙幣ハ番記ノ号アリ反令盜竊ノ難

ニ罹ルモ亦搜索ノ煩アル四ナリ反令紙幣ハ水火ノ難  
ニ罹ルモ一人一己ノ損失ニシテ貨幣ノ如ク全國ノ損  
失ニハ歸セザルハ益アル五ナリ是其最ナリ其餘ハ隨  
テ知ルヘシ又紙幣ニ三患アリ損燒ノ患ナリ偽造ノ患  
ナリ不換ノ患ナリ夫損燒ノ患ノ如キハ勢ヒ固ヨリ防  
クヘキニアラス偽造ノ患ノ如キハ真貨ト雖亦之レ無  
キヲ保セス然ルヲ況ンヤ紙幣ニ於テヤ然レモ尚能  
除クヘシ特リ不換ノ如キハ尤以テ紙幣ノ大患トス然  
レモ亦竊ニ惟ミルニ貨幣ハ固ト百貨交易ノ表證媒ハ  
ノ用ニ供スルノ具ニシテ其通融スル所固ヨリ界限ナ  
ク海外ニ輸出シ而シテ其價格ヲ失ハサルモノハ是其  
本質ヲ得ルナリ紙幣ハ其代券ニシテ通融其界限アリ  
ト雖其功用ハ則貨幣ニ異ナルモノアラス亦均シク百

大  
藏  
省

貨交易ノ表證媒ハタリ故ニ幣ノ貴重スヘキ所以ノモ  
ノハ特ニ其政府ニアリテ金銀銅紙ノ質ニアラス況ン  
ヤ我國ノ如キハ

皇統一系千萬世ヲ傳ヘ天壤ト共ニ易ハラス衆庶ノ仰  
キ信スルモノニ於テヲヤ是ヲ以テ兌換ト不換トヲ論  
セス只偽造ノ患ナクンハ内國衆庶ノ使用一ニ之ニ歸  
シ真貨ノ如キハ只ニ外國交易ノ媒ハヲナスノ三若其  
交易ノ際實貨ノ價格偏重ニ失スルナク彼此均平ヲ得  
ルニ至リテハ紙幣ノ功用益廣大ヲ極メ人民ノ信憑ヲ  
得ント又疑ヲ容ルヘカラス況ンヤ今其準備ヲ國債寮  
ニ置キ以テ不換ノ實ナキヲ保スルアルニ於テヲヤ然  
リ而シテ尚且米國ノ方法ニ據リ公債證書ヲ発行シ悉  
ク彼ノ不換紙幣ヲ改メ真貨兌換ノ銀行紙幣ニ交換セ

シメントス是曩キニ国立銀行條例ヲ制定シ自他ノ權  
限ヲ區分シテ準備ヲ標記レ貸借ノ方法ヲ嚴示シテ此  
社ヲ設置ス蓋シ銀行ナルモノ其業ノ興廢ハ衆庶ノ信  
スルト信セサルトニ関ス故ニ之ヲ保管スルニ至密ノ  
検査ヲ尽シ以テ營業ノ向背ヲ探知シ不正ノ利ヲ制シ  
衆庶ノ信ヲ固クシ之ヲシテ確乎不抜ノ地ニ置キ株主  
ノ安全ヲ得セシメ以テ邦國ノ洪益ヲ起シ榮譽ヲ外邦  
ニ輝スモノアラントス是政府ノ銀行ヲ管守スル所以  
ナリ然ルニ銀行ノ業ヲ創スルモノ未タ盛ナルニ及ハ  
サルヲ以テ所謂銀行紙幣ナルモノ發行ノ額僅カニシ  
テ彼旧措幣ノ十一ヲ換フルニ足ラス故ニ今日製各種  
ノ措幣ヲ交換シ其面目ヲ一ニスト益ハ敗損交換ノ預  
備ニ至リテハ更ニ増製ヲ要セザル能ハス若シ夫レ再

大 蔵 省

ト之ヲ外邦ニ托スルアラハ帝ニ國損ノミニアテス我  
工業進歩ノ期ナカラントス是ヲ以テ諸紙幣ノ原版及  
製造ノ機械ヲ購求シ外人ノ此技ニ達スルモノヲ招  
備シ以テ諸紙幣ヲ製シ兼テ其他ニ及ハント欲ス人智  
日ニ関ケ技術月ニ巧ナルニ從ヒ質造ノ弊モ亦甚シキ  
ニ至ルヘシ故ニ紙幣ヲ製スル益精密ノ巧ヲ究メ時ニ  
隨ヒ其宜ヲ改製スルニアラスンハ必ス紙幣ノ大艱難  
ヲ生スルヲ致ス是工場建置ノ因テ起ル所以ナリ蓋シ  
財務ノ職ハ專ラ國債寮ニアリト雖モ理財ノ道ヲ講明  
シ一般ノ融通ヲ謀ルノ事ニ至リテハ專ラ本寮ノ務ハ  
ル所ニアリ故ニ本寮ノ主トスル所ハ特リ紙幣製造ノ  
一邊ニ止マルニアラス則濟世利民ノ重キニ関シ專ラ  
紙幣ノ出沒ヲ管守シ其總額ヲ確定シ真貨流通ノ景況

ヲ視テ以テ紙幣ノ使否ヲ察シ其枚發ノ樞機ヲ維持シ  
流通ノ否塞ヲ疏通シ以テ其宜ヲ制スルニアリ而シテ  
銀行ナルモノ其業ノ興廢ニヨリテ其國ノ盛衰ニ関ス  
故ニ嚴ニ其要領ヲ掲ケ異日蓋其業ノ盛ナルニ期シ官  
民一般ノ洪益ヲ興カント欲ス而シテ工場ノ如キモ亦  
其規則ヲ嚴ニシ百技悉ク精巧ヲ究メ復タ彼ノ外人ノ  
手ヲ借り以テ偽造ノ防禦ヲナスカ如キノ憂ナカラシ  
メントス是ニ於テ本寮ノ要務ヲ區劃シ二トナス曰銀  
行曰工場ナリ而シテ又本寮ニ五課ヲ置キ以テ二局ノ  
事務ヲ完結ス曰ク庶務計算調度倉庫記録ナリ

